



NIPPON KYOHAN

日本鏡板工業株式会社



NIPPON KYOHAN

日本鏡板工業株式会社

日本鏡板工業ってどんな会社？

日本鏡板工業は鏡板を中心とした、**圧力容器の専門メーカー**です。あまり目にすることは少ないかもしれませんが、人々の生活、命を守るために欠かせない製品を製造しています。



薬品業界



食品業界



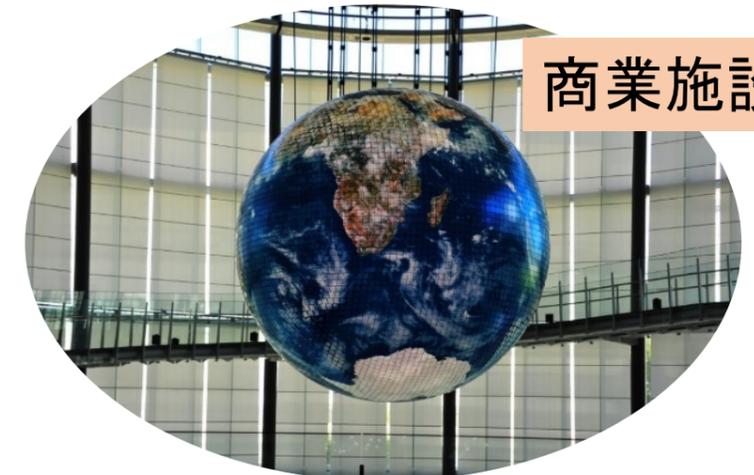
研究施設



化学工場



ガソリンスタンド・石油・ガス



商業施設

日本鏡板のココが強み！！

1 冷間加工技術

素材に熱を加えず、プレス加工することにより、素材への負担を軽くし、耐久力の高い製品を作ることができます。



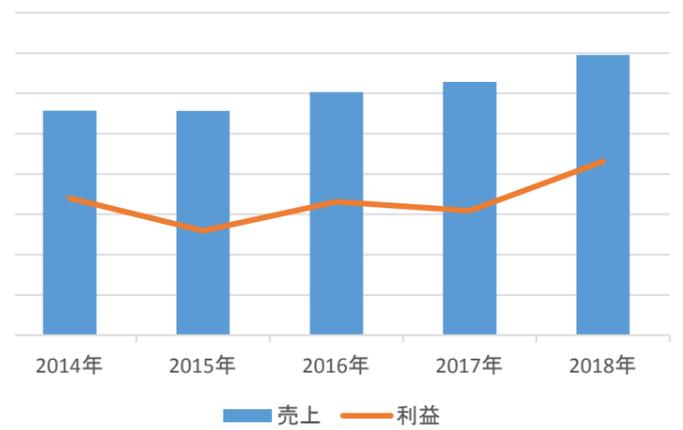
2 経営の安定性

幅広い業界、多くの施設で使われているため、急に会社の経営が落ち込む可能性が低く、新しく参入するには多くの費用が必要になるため新規参入されにくいです。

3 海外展開（次々頁へ）

海外の市場に可能性を感じ、約7年前からベトナムに進出しました。ベトナム工場では鏡板だけでなく、圧力容器全体の製造をしており、販路拡大しています。

経営状況



売り上げは年々増加しており、2020年のオリンピックに向けてますます伸びていく見込みです。日本に5社ほどしかないニッチな業界ですが、「日々努力を怠らず、日々頑張っております。」とのこと。

教育制度

入社前から専門的な知識持っていないよ...となっているそのあなた！安心して下さい、会社で必要な知識は入社してから学べます。OJTや、2泊3日の外部セミナー等、社員研修も充実しています。他にも資格を取得した際の報奨制度も完備！



広報部 鏡ミライ

福利厚生

福利厚生の面でも安心して働ける会社を目指しています。

・育児休暇

上司に申告後、休暇を取得できます。育児休暇の期間は約1年半から2年程です。2018年12月現在で3人の従業員が取得中です。

・有給休暇制度

積極的に有給休暇を使ってもらうために、年間に休む予定表を総務部に提出してもらっています。また、社会保険労務士が顧問で、労働面では安心。新入社員は、入社6か月後に、10日間の有給休暇が付与されます。他にも、誕生日や記念日休暇も充実しています。

・社内行事

当社では従業員だけでなく、家族も楽しんでもらえるような社内行事も行っています。



← 50周年USJ旅行 社内BBQ →



海外展開(ベトナム工場)を紹介！！



日本鏡板工業では、鏡板(蓋)の部分を作製していますが、RK ENGINEERINGでは、蓋と筒部分の両方を製作し、タンクを完成させて出荷等も行っています。



製造

完成



出荷

なぜベトナムへ？

- 国民性

ベトナムは手先が器用であり、とても勤勉であるという国民性がモノづくりにおいて向いています。

- 労働力

労働人口が多く、平均年齢の低さから、多くの人材を雇用することが可能となります。

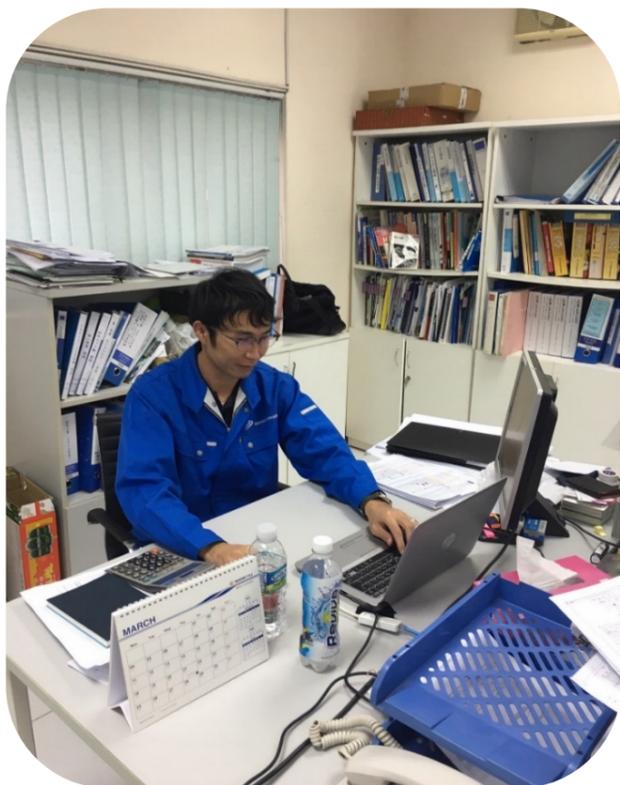
- 市場の広さ

東南アジアの経済発展していく中で、様々な企業が工場を建設していく過程でタンク等が必要になります。そこで新たな企業との仕事に結びつく可能性が広がります。

なぜハイフオンに？

作った大きな製品を輸出するには船が適しています。そのため、工場から船に運びやすいよう、海に面しているハイフオンを選びました。また、空港のある都市、ハノイからも近いです。

RKエンジニアリングの1日



岡田 義弘さん

- am 7:00 送迎バス
- am 7:20 RK到着
- メールチェック
- am 8:00 ラジオ体操
- 朝礼
- 工場見回り
- am 10:00 メールチェック
- 書類整理・サイン
- 出荷前商品の立ち会い
- pm 0:00 昼食
- pm 1:00 書類整理
- 書類サイン
- pm 5:00 退社



小川 裕也さん

- am 7:00 送迎バス
- am 7:20 RK到着
- メールチェック
- am 8:00 ラジオ体操
- 朝礼
- am 9:00 メールチェック
- 物件の進捗
- 問い合わせ
- 見積もり書処理
- pm 0:00 昼食
- pm 1:00 取引先訪問
- 書類整理
- pm 5:00 退社

ベトナム工場に行ってみました

現在ベトナム工場では、4人の日本人と104人のベトナム人が働いています。工場内では、日本語でベトナムの方々に指揮をとっており、みんな、それを理解して行動しているように見えました。しかし時には理解できないこともあるようで、そこは日本語の資格を持ったベトナム人が仲介して指示を伝え、根気よく向き合っているようです。

違う国同士、文化の違いはありますが、だからと言って日本人とベトナム人で溝があるようには見えませんでした。

また、ベトナム人の社員の方々も、勤勉という評判の通り、一人一人目が合うと率先して挨拶をしたり、わからない日本語があれば、積極的に学ぼうとしたりしていました。また、キャンティ(食堂)では、ほかの社員の方々と和気あいあいと過ごされており、真面目なだけでなく仕事とプライベートの切り替えができる人々なんだと感じました。

ベトナムのことを、人から聞いて自分の中だけで想像していたのと、現地へ直接行って、様々な視点から国や人々の暮らし等を見るのとでは、見方や感じ方などが違っていました。



昼休みのキャンティ(食堂)



朝礼の様子



記念写真

その他の取り組み(企業イメージ向上など)

家族の方々に、働いているところや、会社の経営状況を知ってもらうために、会社・工場見学を行ったり、社員旅行に、家族同伴で行きました。

製造業である、日本鏡板工業の堅いイメージを払拭することや、PRの目的でミライちゃんグッズ等の作成を行っています。

親睦を深めるために、日タイイベントを企画しています。



社長からのメッセージ

～長く働いてもらえる
会社作りを目指して～

日本鏡板工業は50年以上鏡板を作ってきました。

変わらないものを作っているからこそ、常に新しい技術、新しい製法を生み出していく努力をしています。

そして私たちは、ここで働く従業員だけでなく、その家族、そして地域の人々も大切な存在です。そのため、定年まで長く働いてもらえる会社作りを心がけています。

これからも日本の事業を維持しつつ、海外事業にもより力を入れていきたいです。



日本鏡板株式会社
代表取締役社長
小林三郎

会社概要

日本鏡板工業株式会社 NIPPON KYOHAN KOGYO CO., LTD

本社:大阪市西淀川区御幣島6丁目12-22

関西営業部/関西工場:大阪市西淀川区御幣島6丁目12-22

関東営業部:埼玉県八潮市古新田315-1

関東工場:茨城県稲敷市西代680

九州営業所:北九州市小倉北区西港町10

海外事業部 北陸工場:石川県白山市福留町625

資本金:90,000,000円

年商:約30億円

設立年月日:昭和40年2月1日

代表取締役社長:小林三郎

従業員数:125名

ISO9001:2008/JIS Q 9001:2008

No.95QR・014

「容器に用いるプレス及びスピニング加工による成形品の製造
圧力容器及び溶接構造品の設計及び製造」

JISマーク表示認定:JISB8247

認証番号:JQ0508121

ボイラー及び第一種圧力容器製造認定電気事業法の規定に基づく溶接認定
高圧ガス取締法の特定設備検査規則に基づく溶接認定

取引銀行:

三井住友銀行 難波支店

三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店

りそな銀行 都島支店

商工組合中央金庫 船場支店

技術提携会社 商号

台湾端鋼鉄企業公司 TAIWAN END-PLATE CO.,LTD

所在地:

台北工場:中華民国台湾省台北県三重市光復路2段102巷32号

高雄工場:中華民国台湾省高雄県永安郷維新村永工1路12号

設立年月日:昭和42年8月1日

資本金:新台幣6千萬元

資格:

ASME Section I Power Boiler
(S)No.23979

ASME Section VII Div.1 Pressure
Vessel (U)No.23980

ASME Section VII Div.2 Pressure
Vessel (U2)No.30158





豊かな技術で未来を築く

